

土壌害虫防除の決定版!!



ネキリムシ類



ハリガネムシ



コメツクムシ(ハリガネムシの成虫)



コガネムシ類幼虫



タネバエ幼虫



タバエ被害(たいす)

カルホス® 微粒剤F

✓ 特長

- 広い殺虫スペクトラムを持つ殺虫剤で、活性持続効果が優れています。
- 地下部を加害する土壌害虫(ネキリムシ類、コガネムシ類幼虫、タネバエ、ハリガネムシ)に優れた効果を示します。
- 悪臭や刺激性がなく、使いやすい薬剤です。



上手な使い方

は種時・植付時の
土壌混和处理で
安定した効果!!

ネキリムシ類の生態と防除

無処理



夜になると...
活動する!



処理



土壌表面に
均一に



5cm程度の
深さまで



〈全面散布〉
〈作業散布〉

〈混和〉

〈は種〉

〈植付〉

殺虫剤 カルホス® 微粒剤F

●有効成分：インキサチオン…3.0%
●人畜毒性：医薬用外劇物

●適用害虫名と使用方法

(2019年2月現在の登録内容)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	インキサチオンを含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	モモシクイガ	5kg/10a	夏蘭宮繭時～ 第一世代成虫羽化期	4回以内	4回以内	地表面散布
キャベツ、はくさい レタス、非結球レタス わけぎ、あさつき	ネキリムシ類	6kg/10a	は種時または 植付時	1回	1回	土壌表面散布 土壌混和処理
ねぎ			は種時	1回	4回以内 (は種時は1回以内、 植付時は1回以内、 植付後は2回以内)	
			植付時	1回		
だいこん			は種時～生育初期 ただし、 収穫30日前まで	1回	1回	
しゅんぎく ほうきぎ	定植時					
ほうれんそう	タネバエ	株当たり3g	は種時	2回以内	2回以内	作条処理土壌混和 株元散布 作条処理土壌混和 植穴処理土壌混和
かぼちゃ、すいか	ネキリムシ類	株当たり3g	定植時			
だいず	タネバエ	6kg/10a	は種時	2回以内	2回以内	土壌表面散布 土壌混和処理
	ネキリムシ類		は種時または定植時			
えだまめ			タネバエ ネキリムシ類	定植時	1回	
	ネキリムシ類		は種時	1回		
もりあざみ エンダイブ、食用ざく	ネキリムシ類	9kg/10a	収穫21日前まで	1回	1回	土壌表面散布 土壌混和処理
いちご(仮植床)	コガネムシ類幼虫		定植時			
たばこ	ネキリムシ類 ハリガネムシ	6～9kg/10a	植付前	1回	2回以内	土壌表面散布 土壌混和処理
花き類・観葉植物	カブラヤガ	6kg/10a	定植時			

●だいず・ネキリムシ類(タマナヤガ)に対する効果

2002年 秋田県農業試験場

	被害率率(%) (対無処理比)
カルホス微粒剤F は種前土壌表面散布 土壌混和 6kg/10a	3.9
対照A剤 出芽時土壌表面散布 3kg/10a	32.2

- 発生状況：少発生
- 品種：リュウホウ
- は種：5/30
- 処理方法：は種当日の5/30に、所定量を作条に土壌表面に散布。
対照剤はは種14日後の6/13に所定量を全面に散布。
- 調査：は種21日後に被害茎数を調査。
- 考察：無処理と比較して被害率が少なく、高い防除効果が認められた。

△ 効果・被害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- りんごのモモシクイガに対する地表面散布に際しては、次の事項に注意してください。
 - ①地表面散布は害虫の密度低下を目的としたものであるため、この散布だけで十分に防除効果を期待することはできません。したがって必ずシクイムシ防除剤による樹上散布を併用して防除してください。
 - ②散布は地表面に均一にしていねいに行い、土壌と混和しないください。
 - ③散布時期を誤ると効果が減るので発生予測に注意し、時期を誤らないようにしてください。夏マユの宮繭時から成虫羽化初期が散布適期です(おおむね6月中旬～7月)。なお、散布時期については病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- たばこの作条処理の場合は、植付ける作条になるべく幅広く散布し、土壌とよく混和してください。植穴処理はさけてください。
- キャベツ、だいずに使用する場合は、植溝または播溝になる

べく幅広く散布し、土壌とよく混和してください。植穴または植溝にはさけてください。

- いちごに使用する場合は、仮植床全面に均一に散布して表土とよく混和してください。
- つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺に近づかないようにしてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いは十分注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、

直ちに医師の手当を受けてください。

- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

治療法

本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。

水産動植物への影響

水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管

密封し、食品と区別して、直射日光の当たらない涼涼な所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。

製造



保土谷UPL株式会社

東京都中央区八重洲二丁目4番1号
http://www.hodogaya-upl.com

販売



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
☎(03) 3245-6178 FAX(03) 3245-6084
https://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/

NO.273-1902Z